

工学院大学大学院工学研究科 学生募集要項

外国人留学生入試

修士課程

2026 年 4 月入学 [前期日程・後期日程]

募集要項の内容を変更の場合は、
本学ホームページ（入試サイト）等でお知らせいたします。

目次

1.	工学院大学大学院概要	3
2.	アドミッションポリシー	3
3.	募集専攻・入学定員	5
4.	2026 年度研究指導教員一覧（2026 年 4 月予定）	6
5.	出願資格	7
6.	入試日程	8
7.	出願手続	9
8.	事前面談について	13
9.	選考概要	15
10.	試験科目および時間	16
11.	合格発表	22
12.	入学手続	22
13.	入学金、学費等明細表 （2026 年度）	23
14.	安全保障輸出管理について	23
15.	個人情報の取り扱いについて	23
	出願書類	24

1. 工学院大学大学院概要

【目的】

本大学院工学研究科は、学部の教育の基礎の上に、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与することを目的としています。

【課程】

本大学院は昭和 39 年 4 月に修士課程が、昭和 41 年 4 月に博士課程が設置されましたが、昭和 52 年 4 月の大学院学則改定により、下記のように博士課程一本となりました。ただし博士課程 5 年を前期課程 2 年と後期課程 3 年に区分し、前期課程を修士課程として取り扱うものとします。

研究科	博士課程	
	修士課程 (前期 2 年)	博士後期課程 (後期 3 年)
工学研究科	機 械 工 学 専 攻 化 学 応 用 学 専 攻 電 気 ・ 電 子 工 学 専 攻 情 報 学 専 攻 建 築 学 専 攻 システムデザイン専攻※	機 械 工 学 専 攻 化 学 応 用 学 専 攻 電 気 ・ 電 子 工 学 専 攻 情 報 学 専 攻 建 築 学 専 攻

※システムデザイン専攻 2024 年度より募集停止

2. アドミッションポリシー

修士課程

工学院大学の理念に共感し、自らの可能性を開花させることに真摯取り組む人を求めます。

修士課程においては、学士課程で養った専門分野の基礎能力をもとに、研究分野の発展に寄与したいと望んでいる人、又は、高度な専門性を要する職業等に必要能力を修得し、社会で活躍したいと望んでいる人を求めます。

入学者選抜では、様々な背景を持つ受験生に対して複数の受験機会を設け、本学大学院修士課程に適合する資質や能力、専門性を総合的に評価・選抜します。

博士後期課程

博士後期課程においては、修士課程で養った専門知識と研究能力をもとに、自立して創造的研究を行う意欲のある人を求めます。

入学者選抜では、様々な背景を持つ受験生に対して複数の受験機会を設け、本学大学院博士後期課程に適合する資質や能力、専門性を総合的に評価します。

	修士課程	博士後期課程
機 械 工 学 専 攻	機械工学専攻では、次のような人物を入学者として求めます。 1. 機械工学基礎分野の知識を習得している人 2. 高度な先進化・統合化された知識・技術の習得を希望し、国際的に活躍する意欲を有している人 3. 適切なコミュニケーションを取りながら、周囲と協力しながら活動できる能力を有する人	機械工学専攻では、次のような人物を入学者として求めます。 1. 機械工学分野の幅広い知識と専門性を有し、それらを広く応用できる人 2. 高度な先進化・統合化された知識・技術を習得し、国際的な活躍と学術活動を希望する人 3. 専門的な知識や技術を用いて適切なコミュニケーションを取りながら、異なる専門領域の研究者と協力して活動できる能力を有する人 4. 機械工学の専門領域を学術的に究めたい人
化 学 応 用 学 専 攻	化学応用学専攻では、次のような人物を入学者として求めます。 1. 生命分野、有機分野、無機・金属分野、環境・システム分野に対する興味と関心ならびに学習意欲を有している人。 2. 専門分野における基礎的な知識および技術を有している人。 3. 技術者・研究者としての倫理観をもって社会で活躍したいという意欲ならびに自己研鑽に励む意欲を有している人。 4. 自ら問題を発見し、課題解決のために論理的な考察を行う基礎的な能力を有している人。	化学応用学専攻では、次のような人物を入学者として求めます。 1. 専攻分野における基礎的・専門的な知識および技術を有している人。 2. 論文を作成する能力、研究成果を発表し、それに関する討論を行う専門的な能力を有している人。 3. 技術者・研究者としての倫理観をもって世界で活躍したいという強い意欲ならびに向上心を有している人。 4. 修士課程で養った専門知識と研究能力をもとに、学際的・国際的な視野に立って自立して創造的研究を行う意欲を有している人。
電 気 ・ 電 子 工 学 専 攻	電気・電子工学専攻では、次のような人物を入学者として求めます。 1. 電気・電子・情報通信工学に関する基礎学力を有する人 2. 電気・電子・情報通信工学及び関連分野の専門知識を高めることに意欲を持ち、研究を積極的に遂行する人	電気・電子工学専攻では、次のような人物を入学者として求めます。 1. 電気・電子工学専攻の修士課程修了者と同等以上の専門知識およびそれを活用する能力を有する人 2. 電気・電子・情報通信工学に関するより高度で広い技術を探求し、新たな価値を創造する意欲を有する人 3. 研究を主体的に遂行し、課題の発掘から解決手段の提案・実行、学内外の学術活動、学位論文の作成にわたって取り組める人
情 報 学 専 攻	情報学専攻では、次のような人物を入学者として求めます。 1. 学士として情報学分野の専門知識と基礎学力、ならびに研究能力を有する人 2. 情熱と意欲と研究倫理を持って情報分野の研究に取り組み、継続して努力のできる人 3. 情報分野に興味を持ち、何事にも真摯に向かい合い深遠な思考のできる人 4. 情報化社会の様々な問題を解決するため、問題分析力と論理的な思考力の修得を目指す人 5. 国際的な情報化社会で役立つ基盤となる学力の修得を目指す人	情報学専攻では、次のような人物を入学者として求めます。 1. 情報学専攻の修士課程修了者と同等以上の専門知識およびそれを活用する能力を有する人 2. 情熱と意欲と研究倫理を持って自立して情報分野の研究に取り組み、継続して努力のできる人 3. 審査付き学術論文誌、審査付き国際学会で研究成果の発表を目指す人
建 築 学 専 攻	建築学専攻では、次のような人物を入学者として求めます。 1. 建築学の分野において、基本的能力を有する人 2. 自ら真理を探究するための基本的能力と意欲を有する人 3. 建築学における専門領域を開拓しようとする意欲を持ち、その目的遂行のために努力を惜しまない人	建築学専攻では、次のような人物を入学者として求めます。 1. 建築学の分野において、高度な専門知識を有する人 2. 自ら真理を探究するための思考力や技術力を有する人 3. 建築学における創造的研究を行う意欲を持ち、その目的遂行のために努力を惜しまない人

3. 募集専攻・入学定員

専攻名	修士課程
機 械 工 学 専 攻	70 人
化 学 応 用 学 専 攻	50 人
電 気 ・ 電 子 工 学 専 攻	60 人
情 報 学 専 攻	50 人
建 築 学 専 攻	60 人

4. 2026 年度研究指導教員一覧（2026 年 4 月予定）

2026年度入試 工学院大学大学院指導教員一覧

専攻	教員名	修士	博士
機械工学専攻	禹 ハンウル	○	
	小川 雅	○	
	何 建梅	○	
	貝塚 勉	○	
	金丸 隆志	○	
	金田 祥平	○	
	桐山 善守	○	●
	小林 潤	○	
	金野 祥久	○	
	齊藤 亜由子	○	
	佐藤 光太郎	○	●
	佐藤 允	○	
	塩見 誠規	○	
	白鳥 祐介	○	●
	須賀 一博	○	
	鈴木 健司	○	●
	瀬尾 和哉	○	
	宋 小奇	○	
	高信 英明	○	
	武沢 英樹	○	●
	立野 昌義	○	
	田中 克昌	○	
	田中 淳弥	○	
	西谷 要介	○	●
	長谷川 浩司	○	
	羽田 靖史	○	
	濱根 洋人	○	
	菱田 博俊	○	
	平塚 将起	○	
	廣明 慶一	○	
	堀内 邦雄	○	
	見崎 大悟	○	
	柳迫 徹郎	○	
	山本 崇史	○	●
	山本 憲	○	
化学応用学専攻	赤松 憲樹	○	●
	阿相 英孝	○	●
	油井 信弘	○	
	飯島 陽子	○	
	大野 修	○	
	奥村 和	○	●
	河原 正浩	○	●
	小林 元康	○	●
	辛 英哲	○	
	関 志朗	○	●
	高羽 洋充	○	●
	高見 知秀	○	
	南雲 紳史	○	●
	並木 則和	○	
	橋本 英樹	○	
	藤井 克彦	○	●
	松田 靖弘	○	
	安井 英子	○	

専攻	教員名	修士	博士
電気・電子工学専攻	相川 慎也	○	
	赤城 文子	○	
	牛田 啓太	○	
	尾沼 猛儀	○	●
	工藤 幸寛	○	
	黄 慶九	○	
	小林 亜樹	○	
	斎藤 秀俊	○	●
	坂本 哲夫	○	●
	進藤 哲央	○	
	杉山 隆利	○	●
	高木 亮	○	
	高橋 泰樹	○	●
	陳 キュウ	○	
	永井 裕己	○	
	馬場 健一	○	●
	福岡 豊	○	●
	本田 徹	○	●
	水野 修	○	
	向井 正和	○	●
	山口 実靖	○	●
	山口 智広	○	●
	渡部 隆史	○	
情報学専攻	浅野 裕俊	○	
	浅野 太	○	●
	位野木 万里	○	●
	雨車 和憲	○	
	蒲池 みゆき	○	●
	北山 大輔	○	
	木全 英明	○	
	京地 清介	○	
	熊ノ郷 直人	○	
	小林 良太郎	○	●
	近藤 公久	○	●
	高橋 義典	○	
	竹川 高志	○	
	橘 完太	○	
	田中 久弥	○	●
	張 ジョ	○	
	ナイワラP.チャンドラシリ	○	●
	中島 弘史	○	●
	福田 一帆	○	
	藤井 昭宏	○	
	藤川 真樹	○	●
	真鍋 義文	○	
	三上 弾	○	
	三木 良雄	○	
	八木 勲	○	
	矢崎 敬人	○	
	大和 淳司	○	●

専攻	教員名	修士	博士
建築学専攻	伊藤 博之	○	
	岩村 雅人	○	
	遠藤 新	○	●
	遠藤 和義	○	
	大内田 史郎	○	●
	小野里 憲一	○	●
	榎原 徹	○	
	境野 健太郎	○	
	塩見 一郎	○	
	篠沢 健太	○	●
	鈴木 賢人	○	
	鈴木 澄江	○	
	田村 雅紀	○	●
	富樫 英介	○	●
	富永 祥子	○	
	戸村 英子	○	
	中島 智章	○	●
	中島 裕輔	○	●
	西川 豊宏	○	●
	西森 陸雄	○	
	野澤 康	○	●
	初田 香成	○	●
	久田 嘉章	○	●
	平山 由佳理	○	
	藤井 里咲	○	
	藤賀 雅人	○	●
	松田 頼征	○	
	村上 正浩	○	●
	柳 宇	○	●
	山崎 健太郎	○	
	山下 哲郎	○	●

- ・「※」表記がある指導教員は
任期の関係上、
後任指導教員の承認も必要となります。
必ず事前に当該教員に
相談してください。
- ・教育上の配慮から日程によっては
学生募集しない指導教員もあります。

5. 出願資格

日本国以外の国籍を有し、次の（１）～（１０）のいずれかに該当し、かつ出願条件・注意事項をすべて満たす者

- （１）大学を卒業した者および 2026 年 3 月末日までに卒業見込みの者
- （２）大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者および 2026 年 3 月末日までに授与される見込みの者
- （３）外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者および 2026 年 3 月末日までに修了見込みの者
- （４）外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の 16 年の課程を修了した者および 2026 年 3 月末日までに修了見込みの者
- （５）我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程を修了した者および 2026 年 3 月末日までに修了見込みの者
- （６）外国の大学等において修業年限が 3 年以上の課程を修了することにより学士の学位に相当する学位を授与された者および 2026 年 3 月末日までに授与される見込みの者
- （７）文部科学大臣の指定した専修学校の専門課程を修了した者および 2026 年 3 月末日までに修了見込みの者
- （８）文部科学大臣の指定した者
- （９）本大学院において、個別の入学資格審査により認めた 22 歳以上の者および 2026 年 3 月末日までに 22 歳に達する者
- （１０）その他、本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※上記の出願資格（１）～（７）において「見込み」で受験して合格し、出願資格に必要な要件を 2026 年 3 月末日までに満たせない場合は、入学が許可されません。

※出願資格（９）、（１０）により出願しようとする者は、出願前に審査を要するので、必ず「入学資格審査（事前審査）について」を確認してください。

出願条件

- ・講義を理解できる程度の日本語能力（日本語能力試験 N2 レベル相当以上の語学力を有すること）または英語能力を有すること
- ・《前期日程に出願する方》
出入国管理および難民認定法による在留資格「留学」を取得している者
または入学時まで取得見込みの者
- ・《後期日程に出願する方》
出入国管理および難民認定法による在留資格「留学」を取得している者

注意事項

- ・入学時点で在留資格「留学」を有していない場合、入学試験に合格しても入学が許可されません。
- ・最終学歴が中国の大学の専科（３年制）の場合には出願資格はありません。
ただし、専科を卒業後に本科を卒業して 16 年の学校教育を修了した場合は出願を認めます。

入学資格審査（事前審査）について

修士課程出願資格（９）（１０）により出願しようとする者は、事前に入学資格審査を受ける必要があります。

※「学士」の学位を有している場合は、入学資格審査（事前審査）の必要はありません。

① 申請受付期間

- ・前期日程：2025 年 6 月 26 日（木）～7 月 3 日（木）
- ・後期日程：2025 年 12 月 11 日（木）～12 月 18 日（木）

② 申請方法

郵送受付・窓口受付のいずれかで申請してください。

- ・郵送受付…「簡易書留・速達」で郵送してください。**締切日消印有効。**
- ・窓口受付…新宿キャンパス 11 階アドミッションセンター窓口 9:30～16:30 [日曜・祝日を除く]

③ 提出書類

- ・事前審査申請書（本学所定の用紙）
- ・最終学校（または在籍学校）の卒業証明書（在籍証明書）および成績証明書（申請受付日前 3 ヶ月以内に発行のもの）
- ・志望理由書（本学所定の用紙）
- ・業績報告書（本学所定の用紙）
- ・その他本大学院が必要と認める書類

④ 審査方法

書類審査および面接（口頭試問）による。ただし、必要に応じて筆記試験を課すことがある。

⑤ 審査日および審査結果

審査日は別途通知し、審査結果については出願期間に間に合うように通知する。

6. 入試日程

前期 日程	出 願 期 間 (入学検定料振込期間)	2025 年 7 月 17 日(木)～7 月 23 日(水) 締切日消印・収納印有効
	試 験 日	2025 年 9 月 6 日（土）
	合 格 発 表	2025 年 9 月 10 日(水) 14:00
	入学手続期間 (入学金・学費等納入期間)	2025 年 9 月 16 日(火)～9 月 26 日(金) 締切日消印・収納印有効
	入 学 時 期	2026 年 4 月
後期 日程	出 願 期 間 (入学検定料振込期間)	2026 年 1 月 19 日(月)～1 月 24 日(土) 締切日消印・収納印有効
	試 験 日	2026 年 2 月 26 日(木)
	合 格 発 表	2026 年 3 月 4 日(水) 14:00
	入学手続期間 (入学金・学費等納入期間)	2026 年 3 月 7 日(土)～3 月 13 日(金) 締切日消印・収納印有効
	入 学 時 期	2026 年 4 月

7. 出願手続

(1) 入学検定料の振込

入学検定料：30,000 円（本学出身者は 15,000 円とし、差額を後日返金します。）

振込期間：「6. 入試日程」記載の出願期間（入学検定料振込期間）内に入金すること。

入試日程	入学時期	入学検定料振込期間
前期日程	2026 年 4 月入学	2025 年 7 月 17 日(木)～7 月 23 日(水)
後期日程		2026 年 1 月 19 日(月)～1 月 24 日(土)

振込方法：[銀行窓口での振込] ※締切日収納印有効

受験票・振込依頼書を切り離さずに銀行の窓口を持参し、収納印（3カ所）を受けること。

※やむを得ない場合は ATM での振込を可とする。

[ATM で振り込みを行う際の注意事項]

必ず「整理番号（振込依頼書に記載されている 2 桁の番号）」・「受験者氏名」を振込依頼人名などにした上で振込を行い、振込明細書のコピーを出願書類として提出すること。

振込時に入力誤りがないよう十分注意してください。

振込間違い等によるトラブルに関して本学は一切責任を負いかねます。

(2) 出願書類の提出

提出期間：「6. 入試日程」記載の出願期間（入学検定料振込期間）内に提出すること。

入試日程	入学時期	出願期間
前期日程	2026 年 4 月入学	2025 年 7 月 17 日(木)～7 月 23 日(水)
後期日程		2026 年 1 月 19 日(月)～1 月 24 日(土)

提出方法：郵送または窓口受付 ※締切日消印有効

[郵送出願]

市販の角 2 封筒に、印刷した出願封筒ラベル（「出願書類」ページに掲載）を貼り付け、次項出願書類を全て封入の上、郵便局窓口にて「簡易書留・速達」で郵送のこと。

※書類到着確認は郵便局の追跡サービスを利用してください。

宛先：〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2

工学院大学アドミッションセンター宛

[窓口出願]

工学院大学 新宿キャンパス11階アドミッションセンター

受付時間 9:30～16:30（日曜・祝日を除く）

(3) 出願書類の提出

	出願書類	所定用紙 有無	注意事項
1	入学願書	○	・ 本学出身者は専用の入学願書を使用すること。 ・ 所定箇所に写真貼付のこと。 ・ 指導を希望する教員と出願前に面談を行うこと。 [対面形式で面談を行った場合] 願書の「承認印」欄に押印をもらうこと。 [WEB 形式等で面談を行い指導教員が押印できない場合] 自身で「承認印」欄に✓記入すること。 (アドミッションセンターにて教員に別途確認します) ※第二志望の教員を記入する場合も同様とする。
2	受験票・写真票	○	・ 受験票・写真票・振込依頼書を切り取らず、銀行窓口にて入学検定料を振り込んだ上、収納印が押印された受験票および写真票を提出のこと。 ※銀行窓口以外に ATM での振込も可とする。ATM 利用の場合は、必ず振込方法を確認の上、振込明細書のコピーを提出のこと。
3	卒業・修了(見込)証明書	—	・ 成績証明書に「卒業(修了)見込」であることが記載または証明されている場合は、成績証明書(卒業(修了)見込証明書付)1枚に代えることができる。
4	成績証明書	—	※工学院大学を卒業(修了)した方へ 証明書コンビニ発行サービスの詳細は本学 HP にて確認のこと。 ※中国の大学を卒業した方へ 左記証明書に加え中国高等教育学生信息网(CHSI)発行の認証書の提出も必須となります。提出方法等の詳細は「CHSI 発行「学位認証書」「成績認証書」の提出について」のページを参照ください。 ※改姓等により証明書と現在(出願時)の氏名が異なる方へ 改姓・改名の事実がわかる公的証明書(原本)を1点提出ください。 書類の例：・住民票の写し(履歴が記載されているもの) ・戸籍抄本 ※戸籍全部(個人)事項証明 など
5	履歴書	○	小学校から最終学校等まで年代順に詳しく記入のこと。
6	推薦書	○	出身大学(学部)長等が記入したサインを含む原本を提出すること。
7	受験票返信用封筒	—	任意の長形3号サイズ(235×120mm)の封筒に宛先(ご自身の現住所、氏名)を明記し、 速達 410 円分の切手を貼付すること。

8	TOEIC®(L&R) スコアシート ※修士課程出願者のみ	—	・修士課程出願者は、試験日より過去2年以内に受検した TOEIC®スコアシート 1 点を出願時に提出すること。 [対象となる TOEIC®の種類とスコアシートの提出形式] TOEIC® Listening & Reading 公開テストのスコアを利用する場合 以下の書類を提出すること。 ・公開テスト公式認定証 (Official Score Certificate) の原本 または ・各自で A4 用紙に印刷したデジタル公式認定書 TOEIC® Listening & Reading IP テスト※1・2のスコアを利用する場合 以下の書類を提出すること。 ・IP テストスコアレポートの原本 ※1: <u>工学院大学内にて実施した</u>以下の TOEIC® Listening & Reading IP テストのスコアに限り、試験日より過去2年以上経過した場合でも、本入試における有効なスコアとして提出を受け付けします。 ・前期日程: 2023 年 8 月 7 日 (月) および 2024 年 1 月 24 日 (水) 実施 ・後期日程: 2024 年 1 月 24 日 (水) 実施 ※2: IP テスト (オンライン) は不可。 [スコアシートを出願期間に提出できない場合の提出方法・期日] ・提出書類チェック表の「TOEIC®利用スコアシート申告欄」に必要な事項を記入の上、出願時に「<u>受検票コピー</u>」または「<u>申し込みが分かる書類</u>」を提出し、以下の期日までに TOEIC®スコアを示す書類 1 点を提出すること。 ■前期日程…2025 年 9 月 2 日 (火) 必着 ■後期日程…2026 年 2 月 18 日 (水) 必着 [その他注意事項] ・期日までに利用スコアシートが提出 (到着) されなかった場合は受け付けません。 ・利用スコアシートの提出は 1 点のみとし、複数提出があった場合は無効とします。
9	修士課程研究計画書 ※建築学専攻志願者のみ	○	
10	在留カードのコピー	—	出願時に有効である在留カードの両面コピーを提出してください。 なお、裏面に記載事項がなくても表・裏面を A4 サイズの用紙にコピーしてください。
11	提出書類チェック表	○	全ての出願書類が揃っていることを確認の上、チェック欄および必要事項を記入し出願書類と共に提出すること。

(4) 出願上の注意

- ① 出願書類に不備があるもの、また締切日を過ぎたものは一切受け付けません。
- ② 出願後の受験科目の変更はできません。
- ③ 志願者は出願前に、指導を希望する教員と面談し、合格・入学後の研究室受け入れの内諾を得ることが必須です。教員との面談日時の設定等には時間を要する可能性があります。余裕を持って準備をしてください。詳細は「事前面談について」をご確認ください
- ④ 各種証明書等は、原則として発行から 3 ヶ月以内のものとしします。

既卒の場合は、卒業後に発行されたものも可とします。

- ⑤ 提出できる書類は、日本語または英語表記のものに限ります。日本語または英語以外の言語で作成された証明書等は、大使館または国で認可された公証役場等で公証印を受けた翻訳（日本語または英語）を添付してください。
- ⑥ 本学在学学生に対しメールを用いた連絡を行う場合は、学籍番号のメールアドレスに連絡します。
- ⑦ 出願書類には住民票記載の本名を用いてください。日本名も同時に登録してある場合は、日本名を用いても構いませんが、すべての出願書類は同一の氏名で統一してください。
- ⑧ 入学に際しての在留資格の取得・更新手続は各自で行っていただきます。在留資格認定に関わる審査には1カ月以上の日数を要します。詳細は入国管理局にご確認ください。
なお、ビザ取得のための審査は法務省が行うため、不許可となった場合、大学は一切責任を負いません。
- ⑨ 中国の大学を卒業した方は、出願前に、『CHSI 発行「学位認証書」「成績認証書」の提出について』のページを確認の上、必ず認証申請手続を行ってください。出願期間内に認証書が本学に到着しない場合、当該試験は受験できません。
- ⑩ いったん納入された入学検定料は、返還しません。ただし、次の事由に該当する場合は、申請（別途様式あり）により返還することがあります。
 - 1. 入学検定料を納入したが、出願しなかった場合
 - 2. 出願が受理されなかった場合
 - 3. 入学検定料を誤って二重もしくは過剰に納入した場合上記の入学検定料返還申請理由に該当する場合は、「入学検定料返還願」を工学院大学アドミッションセンターに簡易書留で送付してください（返還請求受付締切日消印有効）。提出書類の記載に不備、重大な誤りがある場合は、請求を受理いたしません。詳細は本学ホームページをご確認ください。
- ⑪ 提出された出願書類は返還いたしません。
- ⑫ 出願書類等に偽造・虚偽記載等があった場合は、不正行為とみなし、入学を許可しません。
なお、その場合も提出された出願書類等および入学検定料は返還しません。
- ⑬ 出願時に健康診断書の提出は必要ありませんが、受験および就学上、特別な配慮を必要とする場合は、出願前に必ずアドミッションセンターにご相談ください。
- ⑭ 出願後、現住所等に変更があった場合は、速やかに連絡してください。

(5) 受験票の受取

受験票および実施要領を試験日3日前までに郵送します。

受験票が届かない場合は、試験日前日までにアドミッションセンターにお問い合わせください。

学生募集に関するお問い合わせ先

工学院大学 アドミッションセンター 〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2

Tel. 03-3340-0130 FAX. 03-3340-2440 MAIL.nyushi@kogakuin.ac.jp

8. 事前面談について

本学大学院入試に出願を希望する方は、指導を希望する教員と自身の研究分野に相違がないか確認のため、出願前に「事前面談」を行い、出願内諾を得る必要があります。内諾を受けていない場合は出願できません。以下を参考の上、指導を希望する教員と事前面談を行ってください。

(1) 事前面談実施から出願までの流れ

出願する入試の募集要項内「研究指導教員一覧」から
指導を希望する教員を決定する

指導を希望する教員へ各自で連絡を取り
事前面談の日程や面談実施形式（対面 または WEB）を決定する

事前面談にて出願内諾を得た後で、出願を行う

(2) 教員への連絡方法

- 工学院大学の学生の方（内部進学予定の方）

指導を希望する教員と各自で連絡をお取りください。

- 本学学生以外の方（学外から出願予定の方）

以下に書類を添付し連絡してください。

- ・ 件名：大学院入試_事前面談希望_●●専攻
- ・ 必要事項：【氏名】、【出願予定の専攻名】、【志望指導教員名】
- ・ 添付書類：

【履歴書】（外国籍の方は小学校入学から現在まで）

【これまでの研究概要】（A4 用紙 1 枚程度/書式自由）

【研究計画書】（A4 用紙 1 枚程度/書式自由）

※上記書類のほか、教員が必要とする書類を追加で提出をお願いする場合があります。

※連絡先の確認方法

➤ 指導を希望する教員の連絡先が公開されている場合

本学ホームページ「[大学院研究室一覧](#)」より指導を希望する教員の連絡先（E-mail）を確認の上、各自で連絡をお取りください。

➤ 志望指導教員の連絡先が未公開の場合

- 【出願開始日の 2 週間前まで】を目途に工学院大学アドミッションセンター

(nyushi@kogakuin.ac.jp)へご連絡ください。アドミッションセンターより指導を希望する教員に連絡を取り次ぎます。なお、出願開始日の 2 週間前を過ぎると、事前面談の予約が取れない場合がありますので、期日に余裕を持ってご連絡ください。

- 一度に複数の取り次ぎはできません。指導を希望する教員が複数名いる場合は、第一志望の指導を希望する教員からお知らせください。

CHSI 発行「学位認証書」「成績認証書」の提出について

中国の大学を卒業した方は、出身大学が発行した証明書類に加えて、CHSI（中国高等教育学生信息网）が発行する「学位認証書」および「成績認証書」の提出も必要となります。下記手続方法にてご提出ください。なお、申請から発行まで時間がかかりますので、早めに手続きをしてください。

■中国高等教育学生信息网（CHSI）手続方法

（１）申請方法

- ① CHSIのWEBサイト〔<https://www.chsi.com.cn/>〕にアクセスしてください。
- ② 出願締切日までに、電子認証報告メールがCHSIから直接、工学院大学に送信されるよう申請してください。〔電子認証報告メール送信先： nyushi@kogakuin.ac.jp 〕
出願者本人が受信した電子認証報告メールの転送は、出願書類として認められません。

（２）申請（提出）書類

修士課程出願者は、次の①～②(大学学部のもの)を提出してください。

博士後期課程出願者は、次の①～④(大学学部のものおよび大学院修士課程のもの)を提出してください。

①	大学学部の『学位認証書』（英文のもの） ・ 「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」 ・ 「中国高等教育学位在线验证报告」
②	大学学部の『成績認証書』（英文のもの） ・ 「Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript」
③	修士の『学位認証書』（英文のもの） ・ 「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」 ・ 「中国高等教育学位在线验证报告」
④	修士の『成績認証書』（英文のもの） ・ 「Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript」

※なお、上表②④「成績認証書」は、CHSI 日本代理機構への発行申請も可能です。

〔CHSI 中国学歴・学籍認証センター日本代理機構 WEB サイト <http://www.chsi.jp>〕

この場合も、出願締切日までに、電子認証報告メールが CHSI 日本代理機構から直接、工学院大学に送信されるよう申請してください。〔電子認証報告メール送信先： nyushi@kogakuin.ac.jp 〕

出願者本人が受信した電子認証報告メールの転送は、出願書類として認められません。

■注意事項

- （１）出願締切日までに、本学で認証書のメールが受信できない場合には、
出願書類の不備により当該試験は受験できません。
- （２）CHSI による上記認証書に加えて、出願時に出身大学発行の証明書を提出する必要があります。
 - ・ 修士課程出願者は、大学学部の卒業証明書、成績証明書を提出してください。
 - ・ 博士後期課程出願者は、大学学部および大学院修士課程の卒業・修了（見込）証明書、成績証明書を提出してください。出願書類の詳細は、「出願書類」および「出願上の注意」の記載頁を確認してください。
- （３）認証書が無効な場合は、入学を許可しません。
- （４）出願者が認証申請申込をしてから本学に認証書が発行されるまでに約 1 ヶ月を要します。
また、中国国内の祝祭日期间や認証書発行に関係する学校の休暇期間等の状況を考慮した上で、余裕をもって申請してください。

9. 選考概要

(1) 試験日：

入試日程	入学時期	試験日
前期日程	2026 年 4 月入学	2025 年 9 月 6 日 (土)
後期日程		2026 年 2 月 26 日 (木)

(2) 試験会場：

工学院大学新宿キャンパス ※詳細は受験票返送の際に通知します。

(3) 選考方法：

学力試験および面接試験によって行います。

なお、面接試験は入学を希望する専攻分野につき、詳細にわたり聴取します。

学力試験（試験科目・試験時間等）については、次ページ以降を参照ください。

※学力試験時に母国語の辞書（電子辞書不可）を使用する場合は、出願時に申し出てください。

10. 試験科目および時間

機械工学専攻

TOEIC® ＜出願時にTOEIC®のスコアを提出、 50点満点に換算＞	10：30～11：50 数学 ＜50点満点＞	13：00～15：00 専門科目 ＜100点満点＞	17：00～ 面接試験
--	------------------------------	---------------------------------	----------------

■TOEIC®

出願時にTOEIC®スコア※1 ※2の提出が必須です。

TOEIC® のスコアは試験日より過去2年以内に受験した TOEIC® Listening & Reading 公開テストまたは TOEIC® Listening & Reading IP テスト※1 ※2のみ有効とします。

※1：TOEIC® Listening & Reading IP テスト（オンライン）は不可。

※2：試験日より過去2年以内のTOEIC® Listening & Reading IP テストのほか、工学院大学内にて実施した以下のTOEIC® Listening & Reading IP テストのスコアに限り、有効なスコアとして認めます。

詳細は募集要項P11を参照して下さい。

■専門科目

以下の6分野から出題される。問題は分野ごとに別用紙で配布される。配布された問題の中から試験当日に2分野を選択して解答する。

ただし、指導教員として以下の教員を希望する場合、指定された分野を必ず受験すること。

・桐山 善守 教授を志望する場合、「第2分野」、「第3分野」、「第6分野」から2分野を選択する。

・小川 雅 准教授を志望する場合、「第2分野」を選択必須とする。

問題は原則的に以下の分野毎に示す範囲及びその関連の基礎的事項から出題される。

専攻科目の6分野とその主な範囲

分野	出題範囲
第1分野 「材料科学」	(1)原子の構造と原子間結合、(2)結晶構造と結晶中に存在する種々の欠陥、 (3)相平衡、平衡状態図、(4)非平衡相、非結晶質、 (5)拡散、化学反応の速度、熱処理、(6)材料の強さと破壊
第2分野 「材料力学」	(1)応力とひずみ、(2)真直棒の引張・圧縮、(3)真直はりの曲げ、 (4)丸棒または円管のねじり、(5)ひずみエネルギー
第3分野 「機構学及び機械力学」	(1)剛体運動、(2)リンク機構、(3)ねじ運動、(4)カム・歯車の運動、 (5)回転機械の力学、(6)機械振動
第4分野 「熱力学」	(1)温度、熱量、(2)熱力学第1法則、(3)理想気体の状態変化、 (4)熱力学第2法則、(5)熱機関のサイクル
第5分野 「流体工学」	(1)静水力学、(2)連続の式、ベルヌーイの式、(3)運動量の法則、(4)管路損失、 (5)流体計測
第6分野 「システム工学」	(1)ラプラス変換（演算子法）とその応用、(2)制御系の安定性 (3)システムの信頼性、(4)統計的データ処理

□備考

- 試験に電卓等の使用は認めない。
- 問題の範囲は主として出題する範囲を示しており、関連する他領域からも若干出題される場合がある。

□注意事項

- 試験当日、受験者は10：15までに試験場に集合すること。
- 受験票は受験中常に携帯すること。

化学応用学専攻

TOEIC®	10：30～11：50	13：00～15：00	16：30～
<出願時にTOEIC®のスコアを提出、 50点満点に換算>	数学又は専門基礎科目の選択 <いずれも50点満点>	専門科目 <100点満点>	面接試験

■TOEIC®

出願時にTOEIC®スコア※1※2の提出が必須です。

TOEIC® のスコアは試験日より過去2年以内に受験した TOEIC® Listening & Reading 公開テスト または TOEIC® Listening & Reading IP テスト※1※2のみ有効とします。

※1：TOEIC® Listening & Reading IP テスト（オンライン）は不可。

※2：試験日より過去2年以内のTOEIC® Listening & Reading IP テストのほか、工学院大学内にて実施した以下のTOEIC® Listening & Reading IP テストのスコアに限り、有効なスコアとして認めます。

詳細は募集要項P11を参照して下さい。

■専門基礎科目

分野	出題範囲 注)
1. 有機化学	①基礎的理論 ②有機化合物命名法（立体構造を含む） ③アルカン、アルケン、アルキンおよび芳香族化合物の構造、性質および反応
2. 無機化学	①原子構造 ②化学結合 ③酸・塩基の定義と応用 ④電気化学の基礎 ⑤無機イオンの基礎化学
3. 物理化学・分析化学	①熱力学第一法則、第二法則と第三法則 ②自由エネルギーと平衡 ③気体の性質 ④分析化学の基礎 ⑤化学反応を用いた分析

注) 出題の80%～90%を網羅する範囲であり、その他の事項も含む。

■専門科目

11科目の中から4科目選択、ただし指導教員として以下の教員を希望する場合は、必修科目を必ず受験し、他の3科目は残り10科目から選択する。

- ・藤井克彦教授、大野修教授、辛英哲准教授、油井信弘准教授を志望する場合は、「生物化学」を必須科目とする。
- ・南雲紳史教授、安井英子准教授を志望する場合は、「有機化学」を必須科目とする。
- ・飯島陽子教授を志望する場合は、「分析化学」を必須科目とする。
- ・並木則和教授、高羽洋充教授、赤松憲樹教授、関志朗准教授を志望する場合は、「化学工学一般」を必須科目とする。

分野（科目）	出題範囲 注)
1. 分析化学	①可視・紫外吸光分析法 ②赤外吸収・原子吸光分析法 ③ガスクロマトグラフィー ④液体クロマトグラフィー
2. 物理化学	①化学熱力学の基礎 ②反応速度論の基礎
3. 有機化学	①不飽和炭化水素、ハロゲン化アルキル、アルコール、エーテル、 カルボニル化合物、およびアミンなどの化学 ②転位反応 ③多官能性化合物の化学（糖、アミノ酸、油脂など）
4. 高分子化学	①高分子の合成と反応 ②高分子の構造と物性
5. 無機化学	①典型元素の特性 ②分子軌道法 ③固体の構造解析 ④無機材料化学
6. 生物化学	①生体高分子の構造と機能 ②酵素 ③遺伝情報発現 ④糖と脂肪酸の合成と分解 ⑤光合成と窒素固定
7. 分離工学	①蒸留 ②ガス吸収
8. 反応工学	①反応速度式 ②回分反応器 ③連続槽型反応器 ④管型反応器
9. 材料工学	①原子間ポテンシャル ②固体の熱力学 ③力学的特性 ④電磁気的特性
10. 化学工学一般	①化学量論計算 ②物質収支 ③エネルギー収支 ④管内流動
11. 移動現象	①ベルヌーイの式 ②層流と乱流 ③所要動力 ④伝導伝熱 ⑤流動伝熱 ⑥放射伝熱

注) 出題の80%～90%を網羅する範囲であり、その他の基礎的な事項も含む。

□備考

- 専門基礎科目・専門科目の試験中は、大学が貸与する関数電卓（CASIO fx-375ES A）の使用を認める。
※個人所有の関数電卓は持ち込み不可とする。
- 問題の範囲は主として出題する範囲を示しており、関連する他領域からも若干出題される場合がある。
- 願書の選択科目記入欄に必ず○をつけること。

数学又は専門基礎科目の選択

□注意事項

- 試験当日、受験者は10：15までに試験場に集合すること。
- 受験票は受験中常に携帯すること。

電気・電子工学専攻

TOEIC®	10 : 30～11 : 50	13 : 00～15 : 00	16 : 00～
<出願時にTOEIC®のスコアを提出、 50点満点に換算>	専門基礎科目 <50点満点>	専門科目 <100点満点>	面接試験

■TOEIC®

出願時にTOEIC®スコア※1 ※2の提出が必須です。

TOEIC® のスコアは試験日より過去2年以内に受験した TOEIC® Listening & Reading 公開テスト または TOEIC® Listening & Reading IP テスト※1 ※2のみ有効とします。

※1 : TOEIC® Listening & Reading IP テスト (オンライン) は不可。

※2 : 試験日より過去2年以内のTOEIC® Listening & Reading IP テストのほか、工学院大学内にて実施した以下のTOEIC® Listening & Reading IP テストのスコアに限り、有効なスコアとして認めます。

詳細は募集要項P11を参照して下さい。

■専門基礎科目 (4問全問解答)

分野	出題数	出題範囲 注)
電気・電子工学を学ぶ上で 必要な数学的基礎	4	- 線形代数 (ベクトル1次写像、行列演算、行列式の計算) - 微分方程式 (1階微分方程式、定数係数線形微分方程式) - 複素関数全般 (複素関数微積分、留数の定理等) - 応用解析学関連 (フーリエ級数展開、フーリエ変換、ラプラス変換等)

注) 出題の80%～90%を網羅する範囲であり、その他の基礎的な事項も含む。

■専門科目 (15問中4問選択して解答)

分野	出題数	出題範囲 注1)
電気磁気学	2	ベクトル電磁気学 ・ ガウスの法則 ・ アンペアの周回積分の法則 ・ ビオ・サバールの法則 ・ ファラデーの電磁誘導の法則 ・ スカラーとベクトルポテンシャル ・ 誘電体と電束密度 ・ 磁性体と磁束密度 ・ 界の境界条件 ・ 電磁界のエネルギー
回路理論	2	複素数を用いる定常交流回路解析の基礎 ・ 回路解析における諸定理の応用 ・ 直流および交流電圧の印加又は遮断時における過渡現象
電気機器・ パワーエレクトロニクス	1	電気機器の基礎 ・ 電流・電圧・電力などに関する論述 ・ 電流・電圧などに関する波形の算出や論述 ・ 電流・電圧などに関する高調波の算出や論述
計測	1	電気電子計測の基礎 ・ デジタル計測
制御	注2)	制御工学の基礎 ・ フィードバック制御
電子デバイス	1	金属、半導体、絶縁体の電気的特性 ・ 各種半導体の特性 ・ 半導体の電気伝導
電子回路	注3)	pn接合の基礎とそれを応用する素子の原理 ・ MOS構造の特性 トランジスタ回路の基礎 ・ OPアンプ回路の基礎 ・ ブール代数と組合せ論理回路 カルノー図法 ・ デジタル回路の基礎
通信	1	アナログ変復調方式およびデジタル変復調方式に関する基礎 ・ 電波伝播の基礎 アンテナの特性に関する基礎 ・ デジタルデータ伝送の基礎 ネットワークングデバイスとその機能 ・ TCP/IP ・ OSI階層モデル
情報 (基礎)	1	数え上げ、確率、統計学の基礎 ・ 数値計算法の基礎、情報理論と符号理論の基礎
情報 (応用)	2	計算機アーキテクチャの基礎 ・ 信号処理の基礎 ・ 標準化定理 ・ たたみ込み ・ 離散システムとZ変換 ・ 高速フーリエ変換 ・ フィルタの設計と解析 ・ アセンブリ言語 プログラミングの基礎 (概ね50行以内で記述できるプログラミングとそれに関連する問題で、解答はC言語 (C++を含む) などにより記述)
固体物理学	1	固体の結晶構造 ・ 波の回折と逆格子 ・ 固体の格子振動 ・ 固体の熱的性質 ・ 固体のエネルギーバンド
熱・統計力学	1	状態量とvan der Waals式 ・ 熱力学法則と熱機関 ・ 化学反応と熱力学 ・ 気体の分子運動論 ・ アンサンブルとエントロピー (エントロピーの統計的定義)
物理計測	1	計測法、計測機器の評価 (感度、分解能、ダイナミックレンジなど) ・ 計測の信頼性 (負荷効果、誤差、精度、不確かさなど) ・ 物体の計測 (長さ、重さ、速度など) ・ 状態量の計測 (温度、真空など) ・ 物質の計測 (分光分析、質量分析など)
量子物理学	1	前期量子論 ・ 粒子と波: エネルギー保存則と波動方程式 ・ シュレディンガー方程式と波動関数 ・ 定常状態と一次元ポテンシャル

注1) 出題の80%～90%を網羅する範囲であり、その他の事項も含む。

注2) 計測と制御分野では、9月入試は「計測分野」、2月入試は「制御分野」から出題する。

注3) 電子デバイスと電子回路分野では、9月入試は「電子デバイス分野」、2月入試は「電子回路分野」から出題する。

□備考

1. 試験に電卓等の使用は認めない。

2. 問題の範囲は主として出題する範囲を示しており、関連する他領域からも若干出題される場合がある。

□注意事項

1. 試験当日、受験者は10：15までに試験場に集合すること。
2. 受験票は受験中常に携帯すること。

情報学専攻

TOEIC®	10：30～11：50	13：00～15：00	16：00～
<出願時にTOEIC®のスコアを提出、 50点満点に換算>	専門基礎科目 <50点満点>	専門科目 <100点満点>	面接試験

■TOEIC®

出願時にTOEIC®スコア※1 ※2の提出が必須です。

TOEIC® のスコアは試験日より過去2年以内に受験した TOEIC® Listening & Reading 公開テスト または TOEIC® Listening & Reading IP テスト※1 ※2のみ有効とします。

※1：TOEIC® Listening & Reading IP テスト（オンライン）は不可。

※2：試験日より過去2年以内のTOEIC®Listening & Reading IP テストのほか、工学院大学内にて実施した以下のTOEIC® Listening & Reading IP テストのスコアに限り、有効なスコアとして認めます。

詳細は募集要項P11を参照して下さい。

■専門基礎科目（6問中4問選択して解答）

分野	出題範囲 注)
数学、情報	(1)微分・積分 (2)線形代数学 (3)情報数学 (4)電気回路 (5)論理回路 (6)確率・統計

注) その他、上記分野に関連する問題、周辺の問題から若干出題されることがある。

■専門科目（以下の中から4問、あるいは、5問選択して解答。ただし、5問選択した場合、最も点数の低い1問は合計点に換算されない）

分野	出題数	出題範囲 注)
情報基礎	1	(1)コンピュータアーキテクチャ (2)OS
基本アルゴリズム	1	(1)データ構造 (2)アルゴリズム (3)計算量
情報通信	1	(1)情報の表現 (2)インターネット (3)プロトコル (4)符号化
ソフトウェア	1	(1)プログラミング (2)ソフトウェア分析・設計・テスト
信号処理	1	(1)デジタルフィルタ (2)畳み込み (3)DFT,FFT (4)Z変換
セキュリティ	1	(1)暗号技術 (2)不正行為と攻撃 (3)証跡管理 (4)安全性
映像情報処理・コンテンツ	1	(1)コンピュータグラフィックス (2)デジタル映像基礎 (3)コンテンツ設計
人間情報処理	1	(1)感覚・知覚 (2)認知科学 (3)認知（コミュニケーション）行動
音声・言語・知識処理	1	(1)音情報処理 (2)音声認識と理解 (3)人工知能・言語処理
データ科学	1	(1)基本統計学 (2)多変量解析 (3)機械学習
IT インフラ	1	(1)データベース (2)企業システム (3)システム設計法
経営情報	1	(1)経済分析 (2)マーケティング (3)経営戦略

注) その他、上記分野に関連する問題、周辺の問題から若干出題されることがある。

□備考

1. 試験に電卓等の使用は認めない。
2. 問題の範囲は主として出題する範囲を示しており、関連する他領域からも若干出題される場合がある。

□注意事項

1. 試験当日、受験者は10：15までに試験場に集合すること。
2. 受験票は受験中常に携帯すること。

建築学専攻

TOEIC® ＜出願時にTOEIC®のスコアを提出、 50点満点に換算＞	10：30～11：50	13：00～15：00	16：00～
	専門基礎科目 ＜50点満点＞	専門科目 ＜100点満点＞	面接試験
		13：00～18：00 即日設計 ＜100点満点＞	

■TOEIC®

出願時にTOEIC®スコア※1 ※2の提出が必須です。

TOEIC® のスコアは試験日より過去2年以内に受験した TOEIC® Listening & Reading 公開テスト または TOEIC® Listening & Reading IP テスト※1 ※2のみ有効とします。

※1：TOEIC® Listening & Reading IP テスト（オンライン）は不可。

※2：試験日より過去2年以内のTOEIC® Listening & Reading IP テストのほか、工学院大学内にて実施した以下のTOEIC® Listening & Reading IP テストのスコアに限り、有効なスコアとして認めます。

詳細は募集要項P11を参照して下さい。

■専門基礎科目

①～⑫の分野から10分野を選択すること（試験日当日に選択）。

①都市デザイン分野	②ランドスケープデザイン分野	③安全・安心分野	④環境共生分野
⑤建築計画分野	⑥建築構造分野	⑦建築生産分野	⑧建築設備分野
⑨建築デザイン分野	⑩インテリアデザイン分野	⑪共生デザイン分野	⑫保存・再生デザイン分野

■専門科目または即日設計

出願時に専門科目か即日設計のいずれかを選択すること。なお、出願後の変更は不可。

〔専門科目選択の注意〕

受験者は出願時に①～⑧、⑪、⑫の分野から主分野を1科目選択すること。選択した主分野の出願後の変更は不可。

試験当日、予め選択した主分野のほかに副分野を1科目選択し解答。配点は主分野を70点、副分野を30点とする。

〔即日設計選択の注意〕

即日設計を選択した場合、他科目（専門科目）を受験しないこと。

分野	出題範囲
①都市デザイン	都市計画及びまちづくりに関わる法令・制度、今日的課題並びに都市及び地区レベルの計画・デザインに関わる問題
②ランドスケープデザイン	ランドスケープデザインの歴史や計画設計に関する基礎知識、用いる材料等の基礎的な内容に関わる問題
③安全・安心	地震工学、建築防火、地域防災に関する基礎知識と用語の理解に関わる問題
④環境共生	地球環境、都市・建築環境、都市・建築設備に関わる問題
⑤建築計画	住宅・集合住宅、並びに医療・福祉施設を除く地域施設の基礎知識と用語の理解に関わる問題
⑥建築構造	構造力学、各種構造、耐震設計法に関わる問題
⑦建築生産	建築材料の性質およびコンクリートの調査と建築施工・建築プロジェクトマネジメントに関わる問題
⑧建築設備	建築・室内環境、建築設備に関わる問題
⑨建築デザイン	即日設計を受験すること
⑩インテリアデザイン	即日設計を受験すること
⑪共生デザイン	利用者の心理行動、並びに医療・福祉施設の基礎知識と用語の理解に関わる問題
⑫保存・再生デザイン	日本建築史、西洋建築史、近代建築史、並びに建築の保存・再生に関わる問題

○即日設計

即日設計	住宅、ギャラリー、オフィスビルなどを題材として、短時間での課題解決力、総合的な空間構成力や表現力を試験する。 ※即日設計を選択した者には、課題等を記載した通知文書を受験票に同封して郵送する。
------	--

□備考

- 試験に電卓等の使用は認めない。
- 問題の範囲は主として出題する範囲を示しており、関連する他領域からも若干出題される場合がある。
- 専門科目または即日設計については①～⑫の分野から1つを選択し、願書の選択科目記入欄に必ず○をつけること。
- 出願時に修士課程研究計画書を提出すること。

□注意事項

- 試験当日、受験者は10：15までに試験場に集合すること。
- 受験票は受験中常に携帯すること。

11. 合格発表

(1) 日時：

入試日程	入学時期	合格発表日
前期日程	2026 年 4 月入学	2025 年 9 月 10 日 (水) 14:00
後期日程		2026 年 3 月 4 日 (水) 14:00

(2) 方法：

本学新宿キャンパス構内での掲示を正式な発表とします。

また、工学院大学ホームページ「入試サイト」にて合格発表を行います。

合格者には、合格通知書および入学手続書類等を合格発表日に郵送します。

可否に関する直接の問い合わせには一切応じられません。

12. 入学手続

入学手続期間：

入試日程	入学時期	入学手続期間（締切日消印・収納印有効）
前期日程	2026 年 4 月入学	2025 年 9 月 16 日(火)～9 月 26 日(金)
後期日程		2026 年 3 月 7 日(土)～3 月 13 日(金)

※入学手続書類、手続内容等詳細については、合格通知書送付時にご案内いたします。

※合格通知書は願書に記載された「現住所」宛に発送します。出願後、現住所に変更があった場合は、工学院大学アドミッションセンターへ速やかに連絡してください。

※手続期間内に入学手続を完了しない場合、入学は許可されません。

※納入された入学時納入金のうち、入学金については、いかなる理由があっても返還できません。

ただし、やむを得ず入学を辞退する場合や、入学までに入学資格を満たさなかった場合には、本学所定の手続きを完了した場合に限り、入学金を除いた学費等を返還いたします。

手続方法等、詳細については、合格後に案内する「入学手続のしおり」をご確認ください。

13. 入学金、学費等明細表 (2026 年度)

修士課程		年額一回払	二回払	
			入学手続時	次回納期
学費	入学金	*250,000 円	*250,000 円	-
	授業料	580,000 円	290,000 円	290,000 円
	実験実習料	100,000 円	50,000 円	50,000 円
	施設設備料	370,000 円	185,000 円	185,000 円
諸会費	後援会入会金	-	-	-
	後援会会費	-	-	-
	校友会費	-	-	-
	同窓会費	-	-	-
	学生教育研究災害傷害保険料	*2,430 円	*2,430 円	-
合計		1,302,430 円	777,430 円	525,000 円

- 注) 1. 授業料、実験実習料、施設設備料は入学手続時と次回納期の 2 回に分けて納入することができます。
2. *は初年度のための納入金を示します。
3. 本学卒業生の入学者の入学金は 50,000 円とします。
4. 外国人留学生の父母または保証人の後援会入会金および会費は全額免除します。
5. 上記以外に校友会費 (20,000 円)、同窓会費 (10,000 円) を最終年次に徴収します。
(本学卒業生を除く)

14. 安全保障輸出管理について

工学院大学 (以下「本学」という) では、国際的な平和及び安全の維持に寄与することを目的として、「外国為替及び外国貿易法 (外為法)」に基づき「学校法人工学院大学安全保障輸出管理規程」を定め、技術の提供や貨物の輸出を行っています。本学で研究を行う場合には、同法令に従うことが求められますのでご注意ください。

※安全保障輸出管理制度の詳細については以下を参照してください。

経済産業省 <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/index.html>

15. 個人情報の取り扱いについて

工学院大学 (以下「本学」という) は、個人の人格尊重の理念のもとに個人情報の重要性を認識し、「プライバシーポリシー (個人情報保護方針)」および「学校法人工学院大学個人情報の保護に関する規程」を定め、入学試験出願者から取得した個人情報を厳重に管理・保管し、入学試験、合格発表、入学手続及びこれらに付随する業務、および志願者個人を特定されない範囲における入試統計作成のために利用します。

また、これらの利用目的のために、本学指定の業務委託先に個人情報の取り扱いを委託する場合があります。業務委託先に対しては、契約等により個人情報の適切な管理を義務付けています。

あらかじめご了承ください。

※「プライバシーポリシー (個人情報保護方針)」の詳細は以下を参照ください。

https://www.kogakuin.ac.jp/about/compliance/privacy_policy.html

個人情報に関する問い合わせ先…学校法人工学院大学 総務・人事部総務課 電話：03-3340-0121

出願書類（所定用紙）

出願書類はすべてA4片面で印刷してください

- ・外国人留学生入試入学願書
- ・外国人留学生入試受験票・写真票・振込依頼書
- ・履歴書
- ・推薦書
- ・修士課程研究計画書（建築学専攻出願者用）※1
- ・提出書類チェック表
- ・出願封筒ラベル（郵送により出願する場合に使用）※2

※1 修士課程研究計画書は、建築学専攻修士課程出願者のみ提出ください。

※2 市販の角2封筒に「封筒表紙」を貼付・必要事項を記入し、出願書類をすべて封入の上、郵便局窓口にて「簡易書留・速達」で郵送してください。

黒ボールペンを使用し楷書またはアルファベットで丁寧に記入すること

※受験番号

入試日程（✓を付ける）

☐ 前期日程

☐ 後期日程

2026 年度工学院大学大学院工学研究科 外国人留学生入試願書

志望専攻	専攻		修士課程	[写真貼付欄] (縦4 cm、横3 cm) 正面上半身脱帽 最近3カ月以内撮影 白黒・カラーいずれも可
フリガナ			男 ・ 女	
氏名				
生年月日	(西暦)	年 月 日	(歳)	
出願資格 ※和名または 英名で記入	大学 学部 学科			
	(西暦)	年 月	卒業 ・ 卒業見込	
	大学院 研究科 専攻			
	(西暦)	年 月	修了 ・ 修了見込	
現住所	(〒 -)			
連絡先	電話	携帯	メールアドレス	
緊急連絡先	氏名	(〒 -)		
		電話	携帯	
国籍等	国籍	現在の在留資格	留学 ・ 留学以外 ()	
		在留期間 (満了日)	年 月	日まで有効
第一志望指導教員名		承認印	第二志望指導教員名	承認印

【同意事項】 募集要項の「個人情報の取り扱いについて」に記載されている個人情報の利用目的などを理解し、個人情報の取り扱いに同意し出願します。

【備考】 1 ※印は大学にて記入

- 2 志望する教員と対面面談を行った場合：教員より「承認印」欄に押印をもらうこと
志望する教員とWEB面談を行った場合：「承認印」欄には内諾を得た印として✓を記入すること
- 3 本学在学生へメールを用いた連絡を行う場合は、学籍番号のメールアドレスにご連絡します

(筆記試験 選択科目記入欄) 選択する科目に○をつけること

化学応用学専攻	建築学専攻
数学 ・ 専門基礎科目	専門科目 (主分野を1つ選択)
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑪ ⑫
	即日設計
	⑨ ⑩

2026 年度工学院大学大学院工学研究科 外国人留学生入試受験票			
志望専攻	専攻 修士課程	フリガナ	
		氏 名	
(筆記試験 選択科目記入欄) 選択する科目に○を付ける			
化学応用学専攻		建築学専攻	
数学 ・ 専門基礎科目		専門科目 (主分野を1つ選択)	
		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑪ ⑫	
		即日設計	
		⑨ ⑩	

(切り離さないでください)

2026 年度工学院大学大学院工学研究科 外国人留学生入試写真票			※受験番号
フリガナ		[写真貼付欄] (縦4cm、横3cm) 正面上半身脱帽 最近3カ月以内撮影 白黒・カラーいずれ也可	大学提出 取扱銀行 1 収納印
氏名			
志望専攻	専攻 修士課程		

(銀行が切り離してください)

工学院大学大学院 外国人留学生入試入学検定料

取扱銀行保管

電信扱		振込依頼書		科目		
依頼日	年 月 日	振込指定		電信扱	手数料	
振込先	三菱UFJ銀行 新宿中央支店		預金 種目	普通 預金	口座 番号	
	5031964		金 額 ￥ 3 0 0 0 0 0			
受取人 口座名	ガク コウケン ダイガク ダイケンギョウ				内 訳	
	学校法人工学院大学 大学院口・入学検定料					
依頼人 志願者	整理番号	氏名(カタカナ) 姓と名の間を1 枠あける				取扱銀行 3 収納印
	6 1					
	漢字氏名					
	住所	〒 電話 ()				

- 【志願者へのお願い】 全国どの銀行からでも振り込めます。(振込手数料依頼人負担)
- 印刷が不鮮明な場合銀行の窓口で取り扱えない場合がありますのでご注意ください。
 - の項目(依頼日、依頼人(志願者)欄)を記入してください。
- 【取扱銀行へのお願い】
- 太枠内を打電してください。(整理番号、カナ氏名の順で打電してください)
 - 収納印は、取扱銀行収納印欄1・2・3に漏れなく押印してください。
 - 振込期間：前期日程：2025年7月17日(木)~7月23日(水) 後期日程：2026年1月19日(月)~1月24日(土)

--	--	--

本人保管

工学院大学大学院	
入学検定料領収証	
依頼日	年 月 日
金額	¥ 3 0 , 0 0 0
振込先	三菱UFJ銀行 新宿中央支店
受取人 口座名	学校法人工学院大学 大学院口・入学検定料
フリガナ	
氏名	
取扱銀行 2 収納印	

- 上記の金額を入学検定料として受け取りました。
- いったん納入した入学検定料は返還できません。
 - 領収証は本人が大切に保管してください。
(取扱銀行→本人保管)

履 歴 書

	年（西暦）	月	事 項
学歴（高等学校入学以上を記入）（注）			
職 歴			
賞 罰			
上記のとおり相違ありません _____ 年 月 日 氏 名 _____			

（注）外国籍の方は小学校から最終学校等まで年代順に詳しく記入してください

推薦書 / Recommendation Letter Form

志願者名 / Applicant's Name : _____

推薦理由 / Reasons for Recommendation:

評価者氏名/ Your Name : _____

所属機関/ Your Institution : _____

役職 / Your Position : _____

署名 / Signature : _____

日付 / Date : _____

評価者の方へ / To the recommender:

ご記入後、志願者へお戻しください。

/ Please return this letter to the applicant.



(建築学専攻出願者用)

修士課程研究計画書

学籍番号（工学院大学在籍者以外は大学名）：

氏 名：

【希望する研究分野】

【希望する研究室】

【卒業研究で実施(予定)の研究課題について具体的に記載してください】

【修士課程で実施したいと考えている研究テーマについて具体的に記載してください】

【今考えている修士課程修了後の計画を記載してください】

工学院大学大学院工学研究科 入学試験提出書類チェック表（外国人留学生入試用）

課程	修士課程		
受験日程	前期日程		後期日程
志望専攻	機械工学専攻 情報学専攻	化学応用学専攻 建築学専攻	電気・電子工学専攻
氏名			

必要書類が全て揃っていることを確認し、下記チェック欄に✓のうえ、提出してください。（募集要項の提出書類に関する注意事項参照）

チェック欄	出願書類	所定用紙	修士課程
	入学願書	○	●
	受験票・写真票	○	●
	卒業（見込）証明書（学部）	－	●
	成績証明書（学部）	－	●
	修了（見込）証明書（修士課程） ※該当者のみ	－	
	成績証明書（修士課程） ※該当者のみ		
	履歴書	○	●
	推薦書		●
	受験票返信用封筒 ※長形 3 号サイズ封筒に、宛先（自身の現住所、氏名）を明記し、 速達 410 円切手貼付のこと	－	●
	TOEIC®（L&R）スコアシート ※修士課程出願者は必須 ※該当者は【TOEIC® 利用スコアシート申告欄】も記入のこと	－	●
	修士課程研究計画書 ※建築学専攻出願者のみ提出のこと	－	▲
	在留カードのコピー（表面・裏面両方を A4 用紙にコピー）	－	●

（●印の書類は全員提出、▲印は該当者のみ提出。）

※入学検定料を ATM から振り込んだ場合には、振込明細書のコピーを提出してください。

※提出できる書類は、日本語または英語表記のものに限ります。日本語または英語以外の言語で作成された証明書等は、大使館または
国で認可された公証役場等で公証印を受けた翻訳（日本語または英語）を添付してください。

【TOEIC 利用スコアシート申告欄】

いずれかに☑をつける		TOEIC 利用スコアシートの受検日
☐	(a)利用スコアシートが確定している場合	年 月 日
☐	(b)利用スコアシートの原本を出願期間に提出できない場合	期日までに利用スコアシートを提出する

【CHSI 認証書申請状況申告欄】 **中国の大学を卒業した方**は、上記書類に加え、『中国高等教育学生信息网（CHSI）』が発行する認証書の提出も必須です。以下に申請状況を記入のこと。

出願者区分	CHSI への認証申請状況	申請日	申請番号
博士課程	修士課程		
	大学学部の『学位認証書』		
	大学学部の『成績認証書』		
	修士の『学位認証書』		
	修士の『成績認証書』		

速 達

ここに所定額の
切手を貼って
ください。

必要事項を記入
してください。

163-8677

日本郵便株式会社 新宿郵便局 私書箱第十三号
(東京都新宿区西新宿一―二四―二)

工学院大学

アドミッションセンター

御中

簡易書留

大学院 出願書類在中

入試種別		出願専攻	課程
外国人留学生入試		専攻	修士課程
フリガナ			
氏 名			
住 所	〒		